

子育て支援の充実と、住み続けたいまちづくり



町内の直売所へ農産物を出荷している農業者へ販売額の5%を補助
(予算額：990万円)

農業者を支援することにより、町内の直売所への出荷を促進し、地産地消の取り組みを強化します。



小学生から大学生までの路線バス等の通学費を補助
(予算額：1,770万8千円)

子育て支援、公共交通の利用促進のため、通学費の一部を補助します。



第3子以降へ祝金や支援金を支給
(予算額：490万円)

18歳未満の児童を2人以上養育している保護者へ対し、第3子以降の祝金や支援金を支給します。



1～2歳児を自宅保育する保護者へ月額2万円を支給
(予算額：1,296万円)

保育所等を利用せず在宅で育児をする世帯に在宅支援金を交付し、子育て環境の向上を支援します。



▲「道の駅かつら」完成イメージ

働く場所をつくる

- 地域おこし協力隊を積極的に採用し、地域の活性化を図るとともに、「まちづくり」の主要な担い手となり得る人材を育成します。
- 新規就農者の機械導入や施設整備にかかる経費について支援を行います。
- 那珂川大橋の架け替えにともない、道の駅かつらを移転します。

住みよい環境をつくる

- 小・中学校に加えて、保育所等に通う3～5歳児の給食費無償化を行い、茨城県トップクラスの子育て支援を進めていきます。
- 路線バスや鉄道等の公共交通機関を利用して通学する小学生から大学生までの保護者等に対し、通学費の一部を補助し、経済的負担を軽減します。
- 生活習慣の改善、運動の習慣化を図るため、運動教室等の健康づくりを実施します。
- 町営住宅の冷房設備設置にかかる費用の一部を補助します。
- 在宅で支援の必要がある70歳以上の高齢者や高齢世帯に、週1回お弁当を提供し、自立支援と安否確認を行います。
- 安全で快適な生活環境づくりと安心感のあるまちづくりを進めるため、道路改良や河川、水道、下水道の整備および修繕を行います。

住む場所をつくる

- 町営団地の建て替えのため、建築工事および駐車場整備工事を行います。
- 一部の公営住宅については、入居条件を緩和し、単身でも入居できるようにしています。
- 町内に住宅を建てる場合の費用や、あわせて購入する宅地の費用、住宅リフォームに要する費用に対して補助を行い、定住促進と町内産業の振興を図ります。
- 新婚世帯を対象に、新生活にかかる引越費用や家賃等の一部を補助します。

住み続けたいと思う心をつくる

- 鳥家住宅の茅葺屋根の修繕やトイレの改修をし、地域活性化イベント等での活用を図ります。
- 健康増進施設ホールの湯の改修工事を行い、安全性および利便性の向上を図ります。
- 町観光協会が実施するイベントや観光PR活動等の補助を行い、魅力あるまちづくりの推進と町民のふるさと意識の醸成を図ります。